

令和7年度あいち食育いきいきシンポジウム 「～広げよう食育活動！活かそう SNS～」を開催しました

食育消費流通課

2025年10月20日（月）に名古屋市中小企業振興会館において、第4次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2025」の取組の一環として、食育活動の情報を広く発信する手法を学ぶことを目的に、シンポジウムを開催しました。

当日は、食育に関心の高い県民、各種団体・企業関係者、行政職員等47名が参加しました。

1 講演「食育をもっと届けよう！ やさしい SNS 活用入門」

一般社団法人 SNS エキスパート協会代表理事の後藤真理恵氏からは、SNS による情報発信に関する豊富な経験から得られた SNS の活用方法などについて、お話いただきました。

SNS の活用にあたっては、「誰にどうしてほしいのか」を決めてから、目的に合った SNS を選んだ上で始めることの大切さについて、データを交えてご紹介いただきました。

また、SNS に情報を投稿する際には、ファンとの関係性を深める5つの要素「役に立つ、参加型である、親近感がある、共感できる、タイムリーである」のうち、少なくとも1つ盛り込んで発信するなど、具体的な話を聞かせていただき、参加された方々に、参考となったようでした。

2 取組事例1「ショート動画で広げる消費の輪」

JA ひまわり営農部青果課係長の佐藤光氏からは、「365日大葉を食べる人」という SNS アカウントで運用している取組をご紹介いただきました。

取組を始めた頃は、再生員数が伸びず、反響も少ない状況でしたが、演出を工夫し、明るく・テンポよく、季節の食材を組み合わせたレシピにするなど、視聴者を意識した投稿を続けた結果、再生回数が伸び、フォロワーも増加していったという実体験を通じた話を聞かせていただきました。

3 取組事例2「管理栄養士が実践する“伝わる発信”－SNS で広げる食育の可能性」

Clair(クレール)管理栄養士の鈴木ひかり氏からは、料理教室等の食に関する活動情報を SNS で発信している取組事例について、ご紹介いただきました。

SNS の投稿を継続するには、「投稿頻度を決める」、「自分のイメージを決める」などのヒントが示され、その上で、「まずはやってみる」、「コツコツ続けることで食に興味を持つきっかけづくりになる」との話があり、実践に向けた心得を学ぶことができたようでした。

その後のトークセッションと質疑応答では、講師と事例発表者との間で活発にやりとりが行われるとともに、参加者からの質問にも丁寧にお答えいただくなど、有意義な時間となりました。

参加者からは、「食育活動の普及につなげていけるようにチャレンジしてみたいと思った。」、「食育の発信のポイントを教えていただき、今後につなげていきたいと思う」などの声が寄せられ、SNS の活用に対する意欲が高まったようでした。

このシンポジウムをきっかけに、食育活動の一層の充実が図られることを期待します。

